スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

大分県杵築市

自 治 体 名 ： 大分県杵築市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0977-75-2411

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

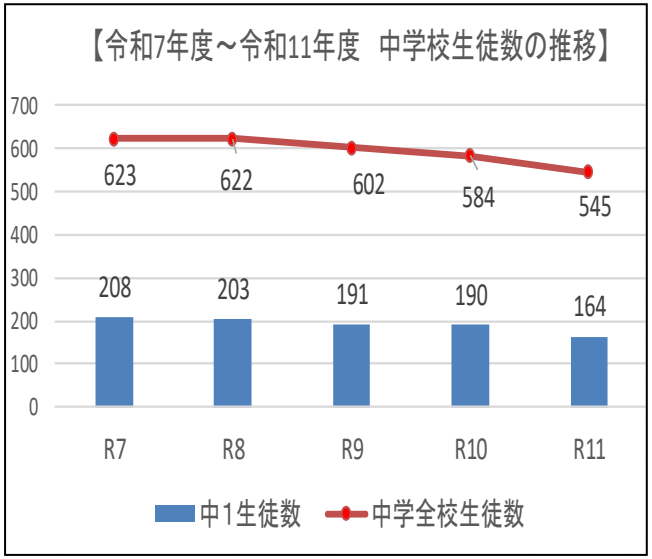
面積	280㎢
人口	25,316人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	623人
部活動数 （運動部活動のみ）	33部活
地域クラブ活動数	3クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

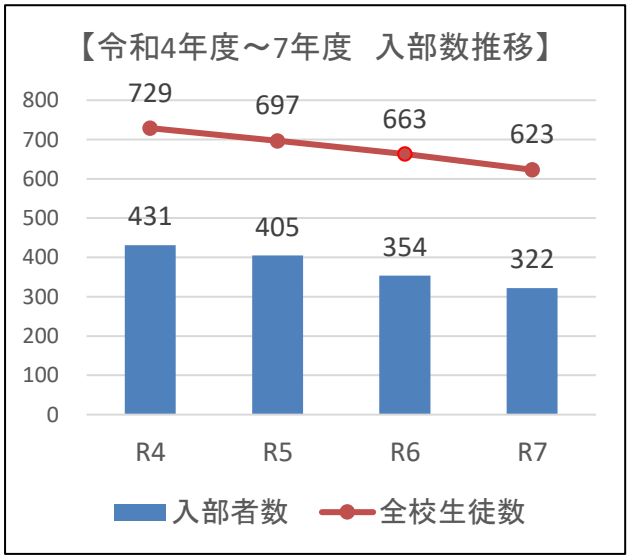
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

【杵築市の運動部活動の現状と課題】

1. 少子化により、部活動ごとの所属生徒数が減少し、チームとして必要な人数の確保（チームの存続）が難しくなっている。これまで2校合同チームを編成して中学校総合体育大会に参加する等の対応を行ってきたが、廃部または休部せざるを得ない状況となることも予測され、生徒が望むスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保が難しくなることが予想される。
2. クラス数の減少に伴い、中学校に配置される教員数が減少すれば、専門的な指導を行える教員を指導者とすることが難しくなり、生徒が専門的な指導を十分受けることができなくなることが予想される。
3. 上記から、国や県の方針により令和5年度から地域展開への取組を開始した。課題として、
   ① 継続的な指導者や受け皿団体の確保
   ② 生徒移送方法、活動拠点場所の整理
   ③ 生徒、保護者、学校、地域へ周知及び理解の促進
   ④ 持続可能な運営体制の構築

があげられる。



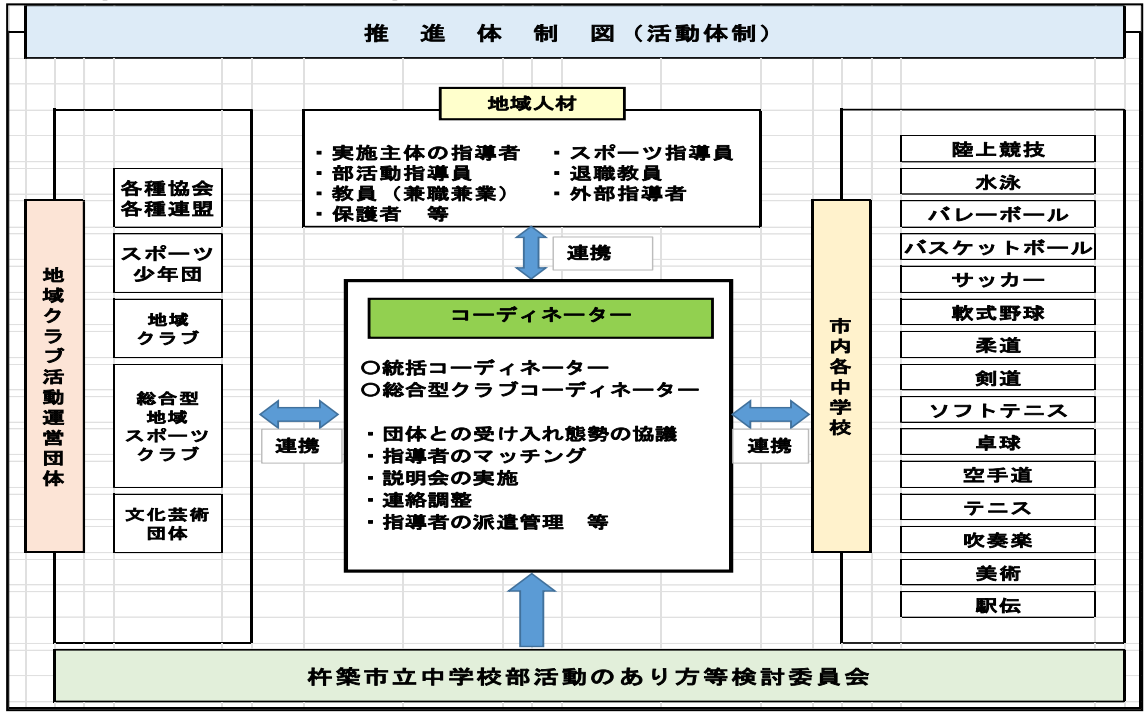


2.実証内容と成果①

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課、文化・スポーツ振興課）

・コーディネーターとの連携、杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会の開催

・学校との連携、連絡調整,作業部会

・スポーツ少年団との連携、部活動の地域展開に係る総合型地域スポーツクラブとの連携

◉首長部局（財政課）

・予算対応、検討

◉コーディネーター

・スポーツ協会との連携、学校部活動とスポーツ協会受け皿・指導者とのマッチング

・持続可能な運営体制の構築

年間の事業スケジュール

4月	• 「杵築市立中学校における学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備に関する方針」周知 • 令和7年地域移行申請、コーディネーターによる各種事務 ※サッカークラブ地域移行
5月	• 指導者への研修（熱中症対策や、体罰・セクハラ）
6月	• スポーツ協会総会にて、スポーツ少年団や競技部代表に対して部活動の地域移行について説明 • 競技部と統括コーディネーターによる第1回連携協議会
7月	• 第7回杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会
8月	• 中学校長と市教委、コーディネーターによる第1回作業部会 • 中体連各種競技視察
9月	• 中間まとめ
10月	• 第2回連携協議会 • 第3回連携協議会
11月	• 第4回連携協議会 • 第5回連携協議会 • 教育長レク
12月	• 第2回作業部会 • 第6回連携協議会 • 総合型地域スポーツクラブ指導者等への研修 • 地域スポーツクラブへの上位大会参加補助金規約策定
1月	• 第3回作業部会 • 兼職兼業アンケート実施
2月	• 第4回作業部会 • 第7回連携協議会
3月	• 第5回作業部会 • 第8回杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会 • 教育委員会とコーディネーターによる今年度の取組の総括及び来年度に向けての課題の洗い出し

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		3クラブ（4部活動）
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	16人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
きつきジュニアAC	総合型地域スポーツクラブNPO法人虹	陸上	・平日週4回 ・休日週1回	平日16:30～18:00 休日9:00～11:00	3年生4人 2年生11人 1年生4人	令和6年4月～	9人	11人（内、兼務2人）	月会費3,000円	中体連他
FC KITSUKI	総合型地域スポーツクラブNPO法人虹	サッカー	・休日週1回	休日9:00～12:00	3年生10人 2年生8人 1年生11人	令和7年4月～	4人	5人（内、兼務2人）	月会費2,000円	中体連他
ニポポJrバドミントンクラブ	ニポポJrバドミントンクラブ（スポ少）	バドミントン	・平日週1回 ・休日週1回	平日17:00～19:00 休日16:00～19:00	2年生2人 1年生3人	令和5年8月～	2人	2人	月会費3,000円	中体連他

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●きつきジュニアAC10周年記念イベント、速杵国東サッカー協会会長杯等

2.実証内容と成果③

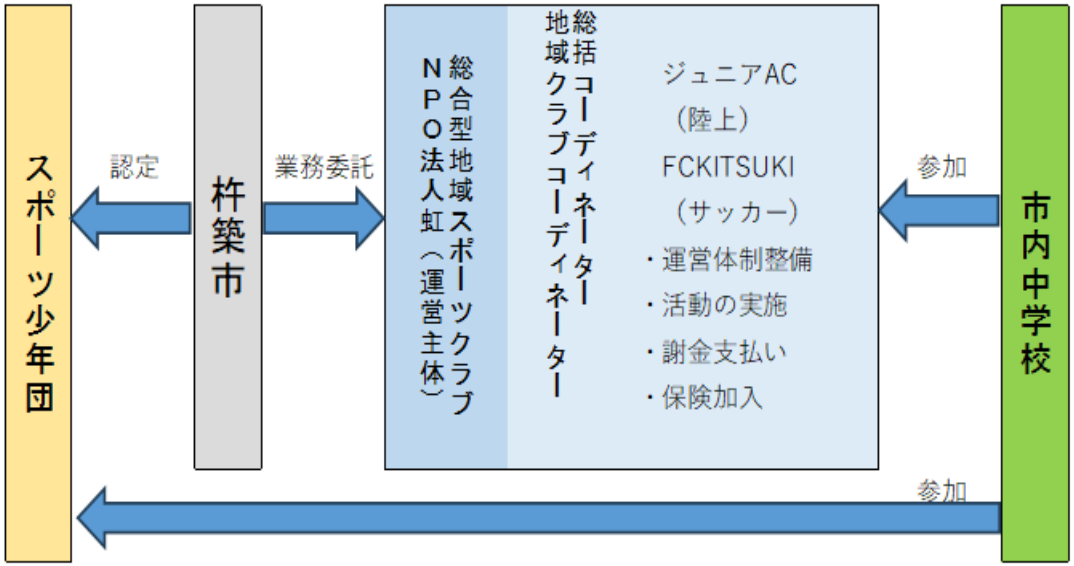
スポーツ庁

主な取組例

●総合型地域スポーツクラブNPO法人虹活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、サッカー
運営団体名	総合型地域スポーツクラブNPO法人虹
期間と日数	サッカー：月4回程度 陸上競技：月20回程度
指導者の主な属性	総合型地域スポーツクラブNPO法人虹 登録指導者及び会員
活動場所	杵築市営総合運動場 杵築市営山香グラウンド、各中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：24,000円/年 陸上競技：36,000円/年
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括コーディネーター

地域展開に向けた取組みの総括者として学校教育課と連携。

●地域クラブコーディネーター

広報、謝金支払い等会計処理、保険加入等。

●主任指導者2名

活動における指導責任者として生徒への指導と学校との連携を行う。

●運営補助者10名

指導責任者の補助として生徒に指導を行う。

2.実証内容と成果④

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○ 杵築市部活動コーディネーター（2名）の配置
- 学校部活動、地域クラブ活動の実態把握
- 地域の指導者候補の発掘
- 地域の指導者や関係機関との連携及び調整
  ※連携協議会
- 地域指導者に対する説明会や研修会の計画、資料作成
- 杵築市総合型地域スポーツクラブNPO法人虹の事務等

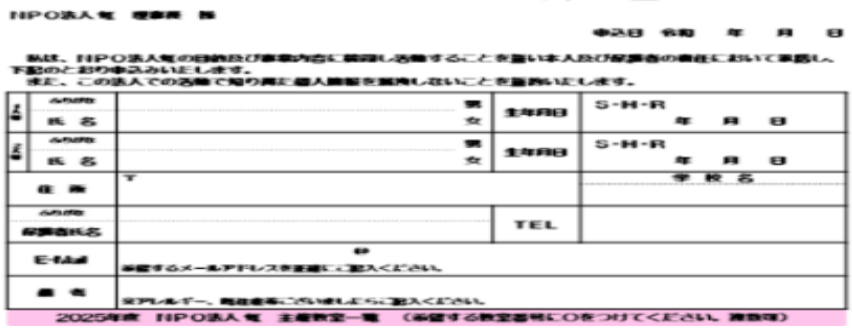
○ 部活動のあり方等検討委員会
○ 作業部会（各中学校長との連携）

地域クラブコーディネーター取組の成果

- NPO法人「虹」に地域クラブコーディネーターを配置することにより、パンフレットの作成や、入会申込書、Webを活用しての広報活動等、運営団体の整備を行うことができた。
- 謝金支払い等の会計等事務処理を行うことで、指導者の負担が軽減され、新規地域スポーツクラブの設立（サッカー）につながった。
- スポーツ保険の加入や各種手続き等についても地域クラブコーディネーターが行うため、指導者が競技指導に注力できる体制を整えることができた。

パンフレット・入会申込書




NPO法人 虹　入会申込書

2.実証内容と成果⑤

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

総括コーディネーターの具体的な動きの実績

○ 総括コーディネーターは、学校の現状把握後、文化・スポーツ振興課（杵築市）によるスポーツ少年団総会に出席し、学校部活動の地域展開について各競技部に協力を依頼した。また、各競技部事務局と継続して面談を行い、杵築市の認定制度等について丁寧に説明を行った。

- 教育委員会や学校との連絡調整
- 学校部活動や地域クラブ活動の現状把握
- 地域の指導者候補の発掘
- 地域の指導者や関係機関との連携及び調整
- 地域指導者に対する説明会

杵築市の認定制度（抜粋）

様式２

杵築市における地域クラブ認定要件確認書

認定要件

（１）原則として杵築市内の中学校に在籍する生徒を中心に編成されている団体であること。

（２）活動拠点は原則として杵築市内とし、活動場所までの移動について、生徒やその保護者の過度な負担とならないこと。

（３）営利目的を主とした運営でないこと。

（４）持続可能なクラブの運営を目指し、複数の役員や指導者が運営に携わっていること。

（５）以下の要件を満たす規約（会則）を作成しており、それらの内容が社会通念上、適正であると認められること。

・目的が記載されていること。

・入退会について記載されていること。

・会費について記載されていること。

・以下に準ずる役員を置くことが記載されていること。

① 代表　②指導者　③会計（代表、指導者、会計を兼ねることはできない）

・総会について記載されていること。

総括コーディネーター取組の成果

○ 総括コーディネーターを配置することで、学校部活動の現状を把握したうえで、地域スポーツ関係者との連絡調整を行うことができた。
○ 地域スポーツ関係者との面談を実施し、指導者や受け皿団体について協議を進めることができた。その結果、サッカーは地区サッカー協会が受け皿となり、総合型地域スポーツクラブとして中体連主催大会を中心に各種大会に杵築市代表として出場することができた。
○ 現在、令和8年度に向け、水泳部がスポーツ少年団を受け皿とした地域展開の準備を進めている。また、複数の競技で受け皿団体ができつつあり、今後学校と受け皿団体とのマッチングを行う。
○ 地域展開を見据えた合同部活動をスタートさせた部もあり、今後も引き続き指導者や受け皿団体の発掘を行う。

2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 今年度の実証事業として、杵築市が小中学校に導入している「学校・家庭・地域連絡システムすぐーる」を活用し、サッカークラブの連絡を行った。サッカークラブ員は複数の学校に在籍しており、練習会場への移動にも時間を要するため、荒天による練習中止や時間の変更、持ち物等について一斉連絡が可能なシステムの利用により、運営効率化を図った。
- 利用した生徒や保護者からはシステムの利用について継続を望む声が強いため、今後も利用を継続、拡充していきたい。



今後の取組における課題

これまでに地域展開をおこなってきたバドミントンの事例や、陸上、サッカーの事例を他の種目にも展開する際に、各競技に応じた専門的な指導者を長期間にわたって安定的に確保することが課題である。指導者資格を有した指導者の確保、指導者個人のスキルアップのみならず、チームとしての指導力向上や、世代交代を見据えた地域の若手指導者育成も重要である。
また、現時点では教員の兼職兼業による地域指導者が無い状態である。学校との連携の観点からも、教員を含めた地域指導者の確保が必要である。

課題への対応方針

○ 総括コーディネーターを引き続き配置し、引き続き地域展開に向けてスポーツ関係団体との協議を継続する。
○ 総括コーディネーターを中心に、教育委員会部局である学校教育課、文化・スポーツ振興課との連携をより深め、地域展開について検討を進める。
○ 必要に応じてアンケートを実施し、生徒・保護者・学校のニーズを把握したうえで、今後の検討に生かす。
○ これまで長年にわたって受け継がれてきた学校部活動の良さを地域クラブに受け継いでいくためには、教職員の参加が必要である。希望する教職員が指導に参画できる体制を構築する必要がある。

2.実証内容と成果⑦

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」主催の指導者研修を実施した。
対象者は、陸上、バドミントン、サッカーの指導者及び保護者、スポーツ指導に関心のあるスポーツ団体関係者とした。
20名が参加し、参加者の中には、研修受講後、地域スポーツクラブの指導者に加わったケースがあった。令和8年度も継続して研修を実施する。



指導者研修の内容

研修名	CONDITIONING FOR ATHLETES
講師	START認定栄養ケア・ステーション 公認スポーツ栄養士吉良明代さん
研修内容	「トレーニングとオーバートレーニングの関係」 現在持っている競技能力よりも、高い負荷をかけることによって、さらに競技能力を向上させることができる。トレーニング後の休養期間を必要かつ十分にとった場合には、運動トレーニングの継続によって適応し、トレーニングの効果を獲得できる。中学世代への指導の在り方について、指導者及び保護者に対して研修を行った。

●12月10日研修の様子



指導者研修受講者の声

参加者
選手にとって、練習と回復のバランスが良い状態で練習を継続すれば、トレーニング効果が高まり、良いパフォーマンスを発揮できることが分かった。

今後の課題と対応方針

杵築市内で部活動を指導していただいている外部指導者、地域展開を見据えて配置している部活動指導員、実証事業に参加する地域クラブの指導者等、地域でスポーツ活動に携わる多くの指導者が研修会に参加し、情報交換できるよう、日程や研修内容、周知方法等を工夫していく。

2.実証内容と成果⑧

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

各種スポーツ団体との連携を図り、部活動の地域展開に向けて指導者を発掘することを目的として、スポーツ協会総会にオブザーバーとして出席し、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への展開に向けた環境整備への協力について依頼。競技部ごとに「連携協議会」を開催した。
杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会を開催し、学校、地域スポーツ団体代表、学校教育課、文化・スポーツ振興課等で連携し地域展開について協議を行った。

各競技団体への依頼文書

（公印省略）

教学第　５４９　号
令和７年６月２３日

関係競技部代表者　殿

杵築市教育委員会
教育長　佐々木　潤一郎

学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた
環境整備へのご協力について（依頼）

向暑の候、貴殿におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、杵築市教育委員会では、国や県の方針に基づき、生徒にとって望ましい持続可能なスポーツ活動や文化活動の機会の確保を目的として、別添の通り、休日の中学校部活動を令和７年度末までに地域連携することや、地域クラブ活動へ移行することを目指し部活動のあり方について検討を進めています。
つきましては、各競技部代表者の方々を中心に、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けご支援をいただきたく存じます。別紙の名簿に必要事項をご記入のうえ、下記担当者までご提出いただきますよう、お願いいたします。

取組の成果

各種スポーツ団体との連携協議会を7回実施し、指導者派遣依頼及び受け皿団体の設立について協力を依頼した。水泳部が令和8年度からスポーツ少年団型による受け皿団体となることとなった。また、2つの競技部で受け皿団体の設立を検討することとなった。
杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会の開催に向けて、コーディネーター、各学校長、教育委員会担当者による作業部会を開催し、検討内容について協議を行うことで検討内容を焦点化することができた。

今後の取組における課題

持続可能なスポーツ活動の機会の確保に向け、継続的に指導を行うことができる人材と受け皿団体の確保が必要となる。また、複数の学校によるオール杵築の地域クラブを創設するなど、新たな価値を作り出すことにより地域クラブのメリットを感じることができる取組も求められる。

課題への対応方針

学校や生徒・保護者のニーズや困りを把握し、国の改革実行期間スケジュールに沿って可能な競技から地域展開を進めていく。

2.実証内容と成果⑨

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

地域クラブと中体連チームが参加可能な地方大会として、杵築市の地域クラブの呼びかけにより、令和7年6月28日（土）に「速杵国東サッカー協会会長杯」を実施した。杵築市の地域クラブであるFCKITSUKI,国東市の地域クラブであるFC国東、日出町の中体連チーム日出中学校サッカー部が参加し、地域クラブ、中体連の垣根を越えて競技することができた。この様子は杵築市の市議会だよりでも取り上げられることとなった。また、ジュニアACは10周年記念行事として小・中・高校生を対象とした陸上教室を令和8年2月7日（土）に開催した。





取組の成果

ジュニアACの陸上教室には多くの小・中・高校生が参加し、ジョギングから専門的な短距離走指導まで、走ることの楽しさを感じることができた。
また、サッカー大会では、地域クラブと中体連チームが参加する地区協会の公式戦となったため、多くの保護者が詰めかけ、熱心に応援していた。



今後の取組における課題と対応方針

陸上教室では、競技力向上のみならず、走ることの楽しさや、プレイヤーズセンタードの精神、選手と周りの人たちに喜びや笑顔、幸せを届けることができる環境作りの大切さを学ぶことができた。
サッカー大会は、地区サッカー協会の協力により、施設使用や審判謝金等の補助を受けることができた。今後も継続して地域大会を実施し、試合を通して選手個々の競技力の向上を図っていきたい。そのためには指導者のみならず、資格を持った審判員の確保も必要である。協会と連携し、資格を保有する審判員の育成に取組む。

2.実証内容と成果⑩

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度は、部活動地域移行コーディネーター配置1年目であり、杵築市教育委員会と総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」が連携をスタートした実証の年であった。令和6年度から受け皿団体となった「きつきジュニアAC」の運営を参考にし、令和7年度から市内のサッカー部を地域展開した「FCKITSUKI」による地域クラブ活動を実施した。平日及び休日に、「虹」に所属する指導者が指導可能な時間帯で実施し、中体連大会をはじめとする各種大会に参加することができた。

また、スポーツ少年団総会の場で中学校部活動の地域展開について周知を行い、地域の実情に応じて可能な種目からの地域展開を目指した。直ちに地域展開が難しい部活動には、スポーツ協会から外部指導者の派遣を依頼することで地域展開へつなげることとした。

令和7年9月、地域展開を見据えた市内3中学校による合同部活動を軟式野球で開始した。また、令和8年度に向け、水泳の地域展開準備が進みつつある。

●成果の評価

総括コーディネーターは、退職校長であり、総合型地域スポーツクラブの元指導員という経歴を生かし、学校訪問により学校の意向や部活動の状況を聞き取ることができた。また、各スポーツ協会関係者とも積極的に折衝し、地域展開が可能な競技について継続して話し合いの場を持った。その結果、令和7年度末現在で新たに2つの競技で地域展開が進められている。

総合型地域スポーツクラブコーディネーターは、「虹」に所属するきつきジュニアAC（陸上）及びFCKITSUKI （サッカー）の指導者謝金等の会計処理や、スポーツ保険加入、チラシ作成、入会届等書類作成、HPによるWeb広報等、事務局体制を構築した。受け皿として「虹」にスポーツ団体を立ち上げた場合、指導者が上記の業務を行うことなく、生徒の指導や学校・保護者との連携に注力できることが確認できた。

●今後に向けて

引き続き総括コーディネーターを配置し、学校教育課、総合型地域スポーツクラブ「虹」、各スポーツ協会関係者と連携しながら、地域の実情に合った地域クラブ（スポーツ少年団）や「虹」を受け皿としたスポーツクラブの立ち上げ・運営を支援する。

きつきジュニアACや、FCKITSUKIのように、中体連大会参加資格を持つ地域クラブの運営を地域で共有することで、部活動が総合型地域スポーツクラブに移行することの良さを示し、スムーズな移行を促していく。

2.実証内容と成果⑪

スポーツ庁

参考資料



【サッカー：活動の様子】



【サッカー：中体連県大会】



【陸上：中体連県大会】



【バドミントン：活動の様子】

2.実証内容と成果⑫

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年		令和7年	令和8年以降
検討委員会設置、検討開始	受け皿団体や指導者の選定	地域クラブ活動の開始 学校現場との調整	生徒、保護者への説明	合同部活動、拠点校部活動の検討、推進	地域クラブ活動の拡大

●ステークホルダー

杵築市立中学校部活動のあり方検討委員会の設置、認定制度、方針の策定

●経過

令和5年度は検討委員会を4回開催。委員との協議を通して認定制度を策定した。バドミントンが認定制度により地域クラブとしての活動を開始した。

●実施にあたって生じた課題

受け皿団体や指導者の確保が課題である。

●実施内容、工夫した点等

認定制度、方針、スケジュールを検討委員会で協議を通して決定した。

●ステークホルダー

総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」を中心とした受け皿団体や指導者の選定

●経過

地域スポーツクラブとして活動していた、総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」のきつきジュニアACが陸上競技の受け皿となった。また、令和7年度からの地域展開を想定し、サッカーの合同部活動をスタートした。

●実施にあたって生じた課題

謝金の額、活動場所、活動日数が部活動と異なるため、合意形成が必要であった。

●実施内容、工夫した点等

きつきジュニアACの地域展開に当たっては、令和5年度末に複数回の保護者会を設定し、理解を得ることができた。サッカーについては、地域展開後の指導者による合同部活動を9月から月数回実施し、体験期間を設定した。

●ステークホルダー

総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」を中心とした受け皿団体や指導者の選定、生徒・保護者への説明

●経過

サッカーについては、令和6年度末に生徒・保護者への説明会を実施し、令和7年度から、総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」内のサッカークラブとして活動開始した。

野球については、地域展開を見据えて令和7年度から4中学校による合同部活動をスタートした。

●実施にあたって生じた課題

令和8年度以降の地域クラブ活動の拡大にあたって、競技ごとに異なる実施主体が想定される。

●実施内容、工夫した点等

地域クラブ活動を拡大するために、総括コーディネーターを中心に学校教育課や文化・スポーツ振興課担当者が各競技部事務局に対して説明や協議を重ねた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

地域展開へのスケジュール

		令和5年度	令和6～7年度	令和8～10年度 「改革実行期間前期」	
1	教育委員会・関係団体	部活動地域展開方針策定 ○杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会による検討 ・検討委員会設置 ・教職員アンケート ・地域クラブ認定制度 ・スケジュール ○認定制度の周知 ・市HP等広報 ○学校への方針周知 ○部活動指導員（３人）による単独指導	部活動地域展開準備・実施 ○杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会による検討 ・部活動ごとの地域展開アンケート（4月） ・兼業兼職等希望調査（4月） ・兼職兼業の要項検討及び作成（R6末まで） ・中体連旅費規程検討 ・施設使用方針検討 ○保護者、生徒への周知 ○関係団体への方針周知（総会にて） ・受け皿団体及び指導者の確保 ○認定制度の周知（R5年3月） ・市HP等広報 ○部活動指導員（４人）による単独指導　（R6～） ○コーディネーターの配置（R7～） ○競技・連盟ごとの指導者の確保	部活動地域展開の段階的実施 ○杵築市立中学校部活動のあり方等検討委員会による検討を継続 ○今後の地域展開を踏まえた部活動指導員（６人）による単独指導 ○地域クラブ指導者への報酬 ○方針の見直し ○全国・九州大会旅費規程策定 ○競技・連盟ごとの指導者の確保 ○指導者の派遣	中間評価
2	中体連	○大会参加規定の見直し	○大会参加規定の見直し ○大会の運営方法検討 ○地域クラブ参加の地方大会実施 ○学校と関係団体による大会運営	○地域クラブ参加の地方大会実施 ○学校と関係団体による大会運営	
3	学校	○各学校における部活動の精選 ○指導者確保 ○各学校及び部活動における地域移行の検討と生徒・保護者への説明 （個別の部活動毎に）	○合同部活動、拠点校部活動の検討、推進 ○各学校における部活動の精選及び活動日数の検討 ○指導者確保 ○各学校及び部活動における地域展開の検討と生徒・保護者への説明 （個別の部活動毎に） ○休日の部活動地域展開　一部実施	○休日の部活動地域展開の段階的実施 ・地域クラブ型 ※社会体育型・スポーツ少年団型 ・総合型地域スポーツクラブ型 ・部活動指導員型（地域展開を踏まえた） ○平日の部活動は、休日の取組の進捗状況等を検証し、可能なところから取り組みを行う	
4	地域クラブ	○ニホポジュニアバドミントンクラブ 【スポーツ少年団型】	○きつきジュニアAC（陸上） ○ＦＣＫＩＴＳＵＫＩ（サッカー） 【総合型地域スポーツクラブ型】	○育泳会（水泳） 【社会体育型】 ○軟式野球（地域展開を見据えた合同部活動）	